

ピア通信

群馬県精神障害者社会復帰協議会

令和4年度群馬県精神障害者地域移行支援事業
ピアサポート活用事業

令和4年 6月 16日



ワークプラザ虹 ピアサポーターグループ チーム虹だより

お久しぶりです。うっとうしい梅雨の時期に入りましたが、皆さんお元気ですか。コロナ感染症のワクチン接種もだいぶ進み、今のところ警戒度は下がっています。それでも病院の患者さんとの交流はなかなか難しく、相変わらずコロナ禍での交流が大きな課題となっています。

対面での交流会はまだできそうにありませんが、最近はZoomを使つての交流会が少しずつ始まりました。画面越しの歯がゆさはありませんが、それでも実際に顔を見て話ができる事は本当に素晴らしい事です。今後も出来そうなことを取り入れて積極的にピア活動を広げていきたいと思つています。



初めてのZoom交流会



少し前の事になります。

1月下旬、初めてZoomで患者さんと交流を行いました。

患者のA子さんは3年ほどの入院生活を経て、いよいよグループホームでの生活に移行する予定です。

コロナ禍の前から交流していたMさんとグループホームを利用されているOさん、2名のピアサポーターが参加しました。画面越しですが、久しぶりに顔が見られ、やっと会えた喜びに思わず手を振りとても感動しました。

A子さんはすでにグループホームの体験を始めていましたが、様々な生活の心配を抱えていました。お金の使い方や、休日の過ごし方、趣味等、Oさんが丁寧に自分の経験を細かく話し、アドバイスしていました。



今年度は、上毛病院のOTの皆さんのご協力により、患者さんとズームを使った交流が始まっています。偶数月に打ち合わせ会議をし、奇数月に実際に患者さんと交流を行います。

早速、5月19日にズーム交流会を行いました。

当日は、二人の患者さんが参加してくれました。

「ピアサポーターとは」というテーマで、ピアサポーターの説明やこれまでの活動の紹介を行いました。

OTの提案で、他者紹介をしましたが、8名のピアサポーターが次々に隣の人を紹介するのがとても楽しかったです。日頃からのチーム力をあらためて感じる事ができました。



虹のピアサポーター活動 虹の会

ワークプラザ虹では定期的にメンバー全員がグループに分かれて話合う「虹の会」を行っています。企画運営は全てピアスタッフです。

5月21日(土)のテーマは「人生最後の食事は何がいい?」「異性に生まれ変わったらしたいことは?」でした。たくさんの意見が出され、各グループ盛り上がっていました。

この日のお持ち帰りのお土産は乾麺でした。人生最後の食事の話の後で乾麺はちょっとかな^^



チーム虹のメンバー エッセイの紹介

もし自分が異性(女性)に生まれ変わったら魔性の女になって、男性を虜にする。なぜなら、人を好きになる、好かれる、という事はとっても素晴らしいことだから。

自分の事を本当に嫌いな人間は、人を好きになる(愛する)ということは出来ないのだから。

実は、実際の自分はハゲていて年相応にも見られないだろうし、異性(女性)から見た場合、恋愛の対象にさえならない。箸にも棒にも引っかけられない男だと思う。

でも、ハゲた事をこれっぽっちも困った事だとか、恥ずかしいとか、イヤだとか思っていない。強がりでも開き直りでもない!

ハゲたからこそ見える景色だとか真実がある。病気になったらなったでそれから見えてくるものがある。

自分のマイナスやコンプレックスの裏側にプラスや自信が隠れているのだ!

何かに落ち込んだり、つらかったり、苦しんだり、悲しんだりしたら、泣いて泣いて、涙の雨で洗い流してしまえばいい。

そしてほんのちょっとだけ勇気を出して、思い切って一步を踏み出してみると、新たな自分や今まで見えなかったものが見えてきたり、出会えるかもしれないよ。

<ものすごく勇気があるかもしれないけど>

一度きりの人生、どうせ生まれ変わるなら生きているうちに変わってみませんか。

ハガネより



今回はハガネさんにエッセイをお願いしました。ハガネさんは主に「コミュニティ喫茶にじいろ」でピア活動をされています。普段はユーモア溢れる素敵なお方です。ぜひ会いに来てください。お待ちしております。

特定非営利活動法人 エイチ・ツー・オー 就労継続支援 B 型事業所ワークプラザ虹

所在地: 〒371-0047 前橋市下小出町2丁目44-3 TEL: 027-289-4103 FAX: 027-212-8029